

中京大都市圏づくり



中京大都市圏のポテンシャル

リニア大交通圏の中心

リニア中央新幹線の開業により、中京大都市圏の玄関口である名古屋駅を起点とした2時間交通圏人口（鉄道+道路）は、品川駅や大阪駅を上回り、国内最大となります。
中京大都市圏は、リニア時代における大交通圏の中心地としての役割を担うことが期待されます。

◆現状の時間圏 (名古屋駅、鉄道+道路) ◆リニア全線開業時の時間圏 (名古屋駅、鉄道)

2時間交通圏人口: 2,993万人 2時間交通圏人口: 6,428万人

② 名古屋

③

- 名古屋駅を起点とした鉄道と道路でアクセスできる時間圏
- 追加するは道路で計画的に計画された10分間の人口を計算
- 人口10万人が自動車での通勤を10分以内で実現できる距離(山手線有線区)を考慮した
- 東横線(通勤時間帯)から自動車、リニアと在来線では自動車が10分と設定
- 人口10万人の交通圏を想定

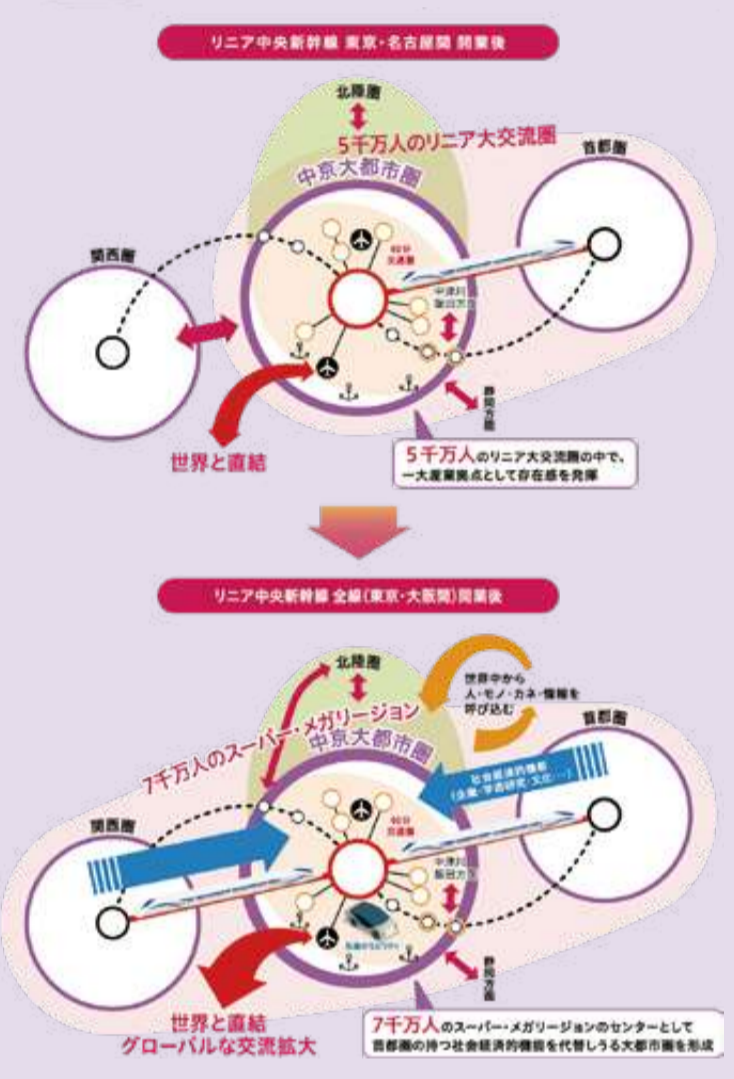
-名古屋駅から各リニア駅までの所要時間については、岐阜県(岐阜リニア中央新幹線活用戦略) (H26.3) を参考に、名古屋駅以西は距離半分を以下下の値を用いた。
岐阜駅: 10分、長野駅: 20分、山梨駅: 40分、神奈川駅: 50分、品川駅: 40分
三浦駅: 10分、東京駅: 20分、新大塚駅: 10分

(出典) 三井物産リサーチ&コンサルティング株式会社作成資料

中京大都市圏とは



リニア中央新幹線の全線開業により、三大都市圏が約1時間で結ばれて一体化し、人口7千万人のスーパー・メガリージョンの形成が期待されます。
その中心に位置する愛知県では、名古屋を中心としたおおよそ80~100km圏を「中京大都市圏」と位置付け、世界と直結する一大産業拠点としての役割を担っていくとともに、この地域の多様な魅力を発信しながら、国内外からヒト・モノ・カネ・情報を呼び込み、名実ともにスーパー・メガリージョンのセンターとして、首都圏の持つ社会経済的な機能を代替する大都市圏づくりを進めています。



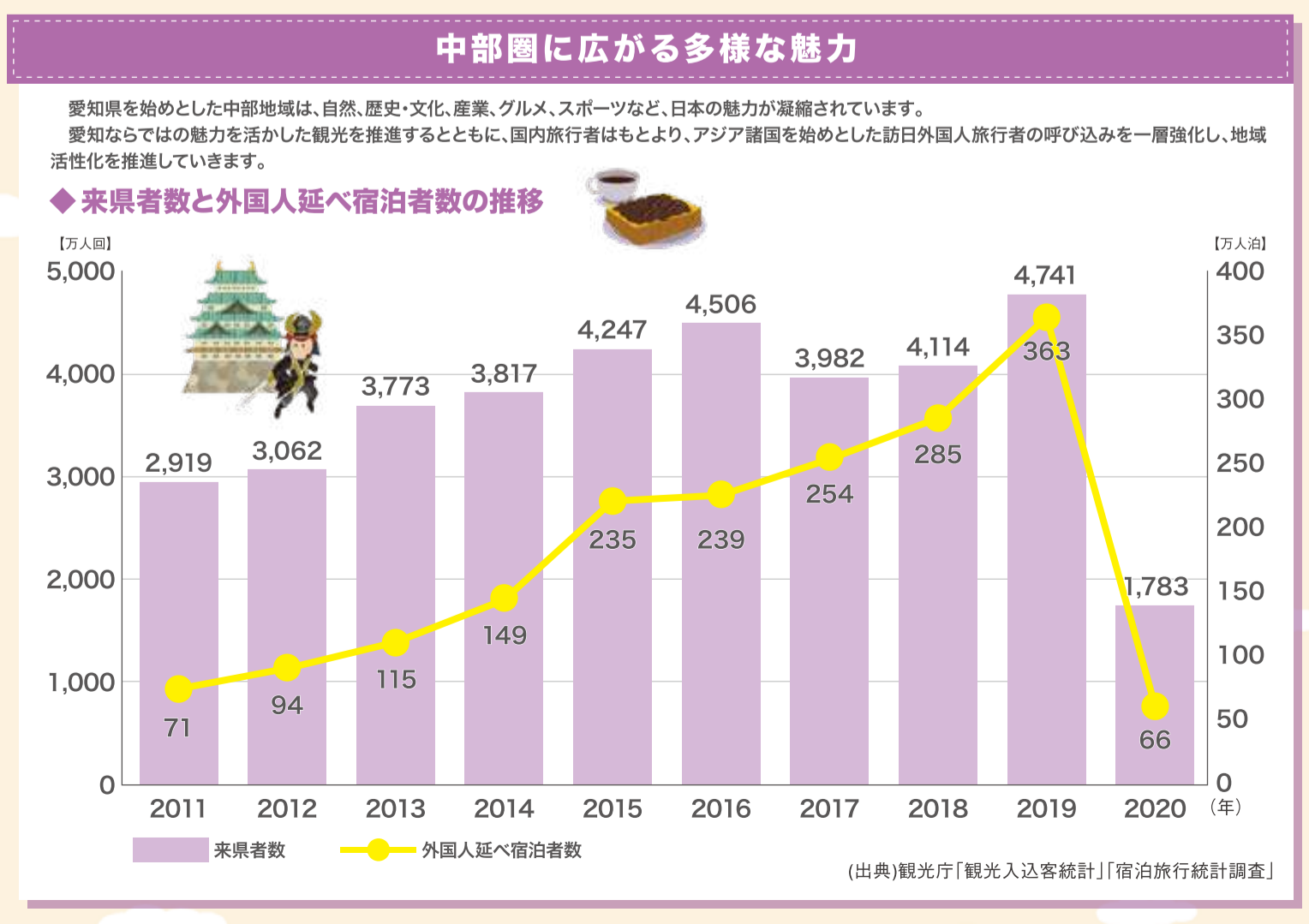
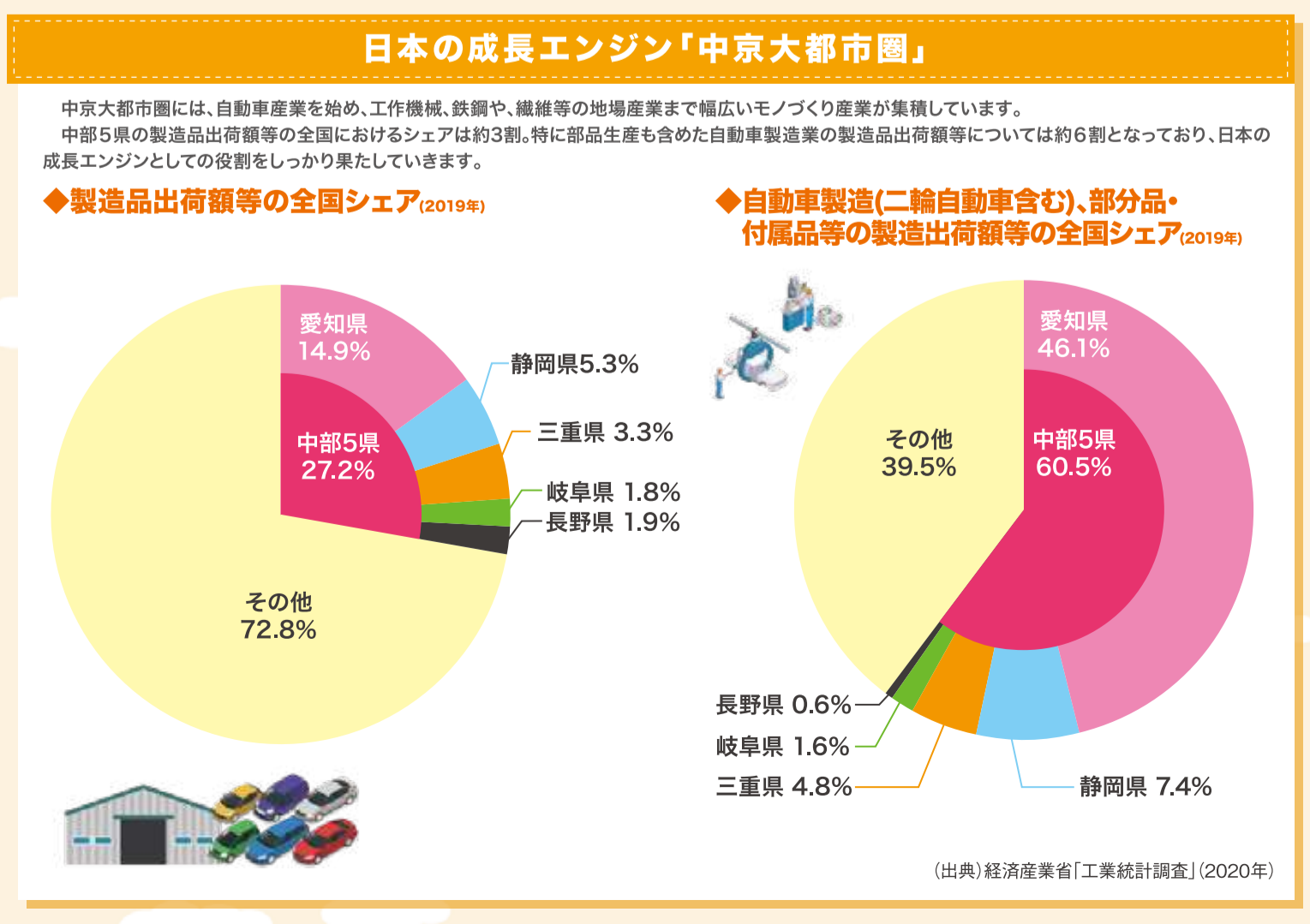
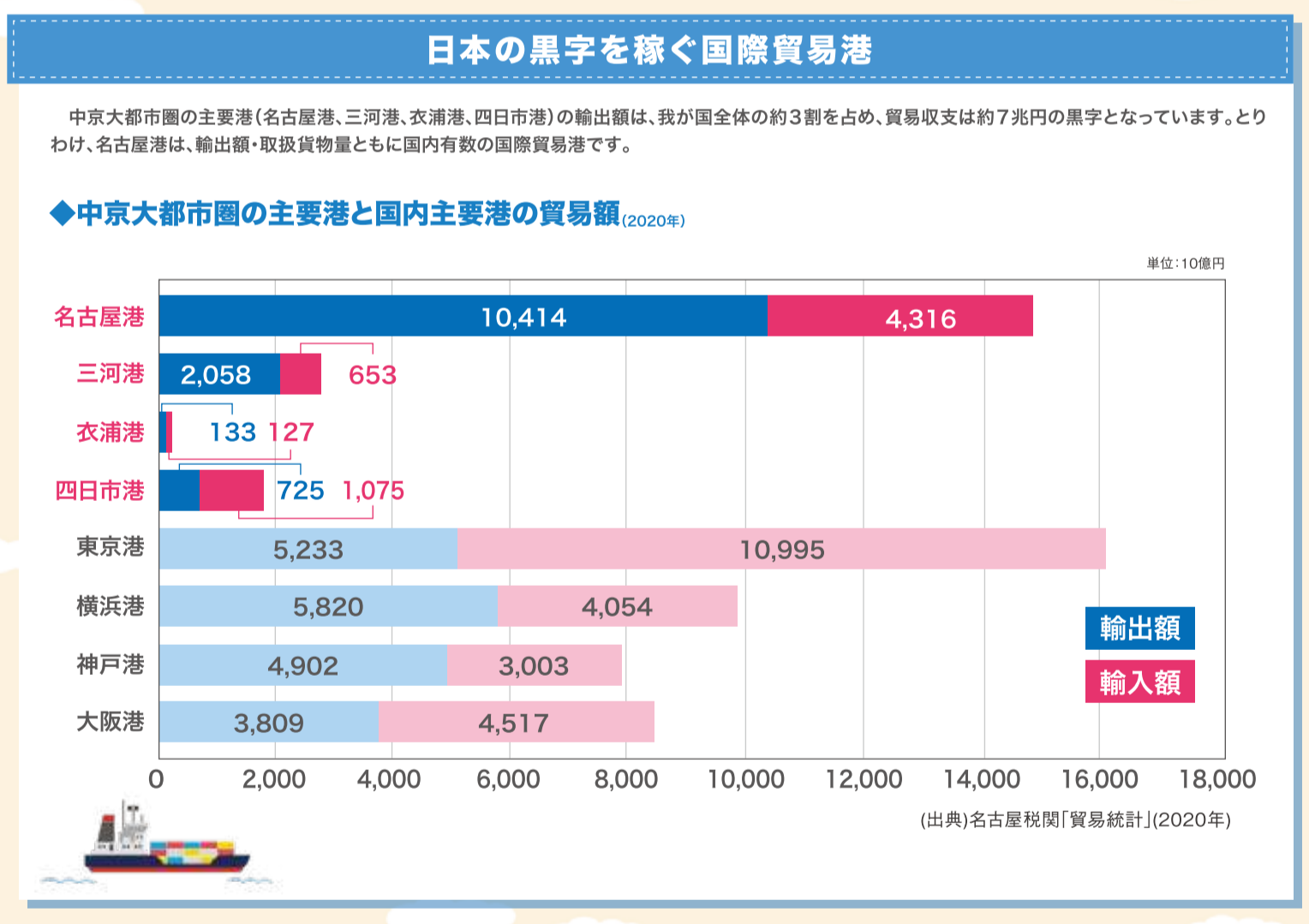
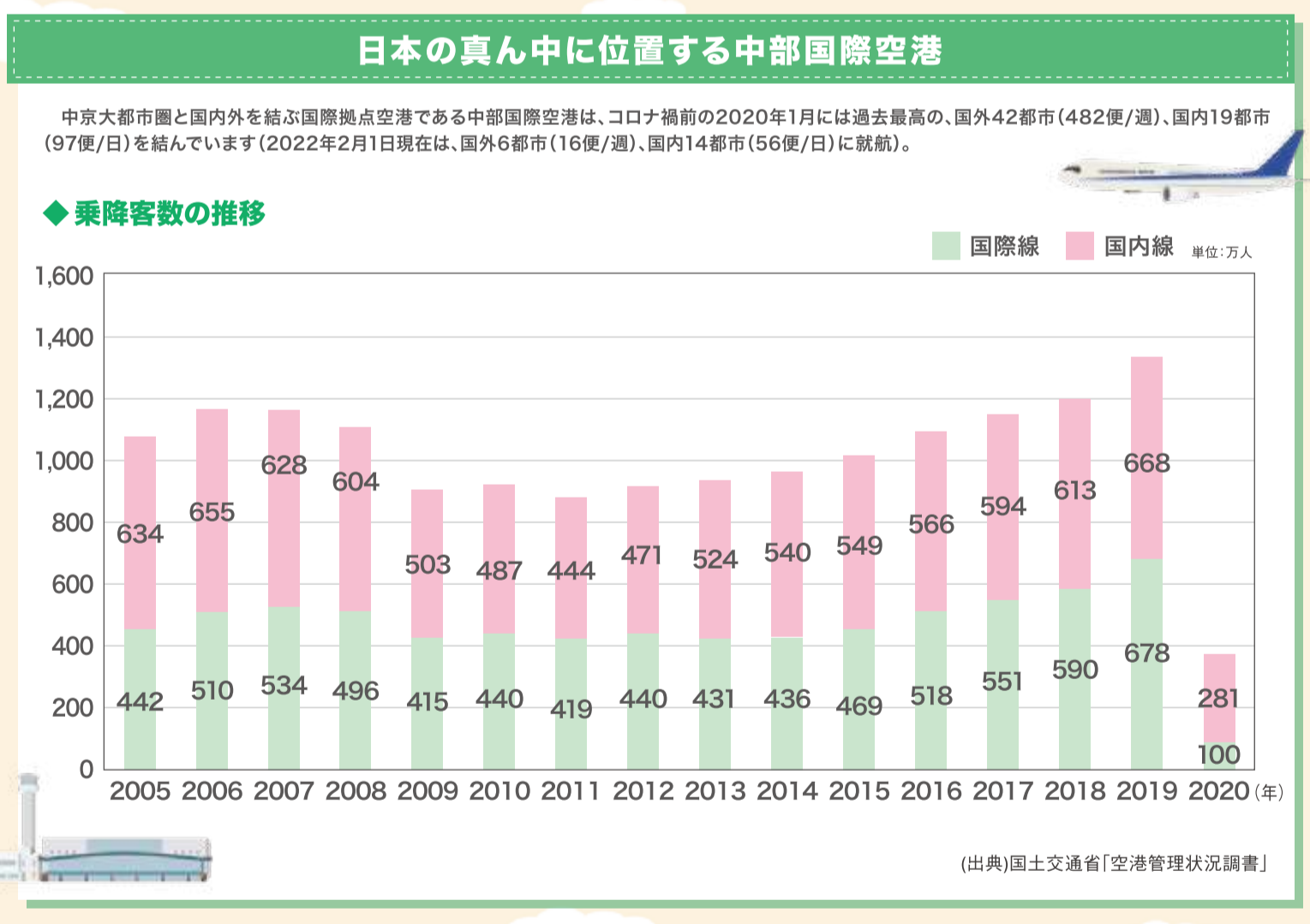
一国に相当する活力

中京大都市圏をエリアに含む中部5県(愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県)は、圏域の人口・面積・経済規模(GDP)がイスを上回り、ヨーロッパの一国に相当する活力を有しています。
圏域の産業を牽引しているのは、圧倒的な産業集積を誇る製造業で、製造品出荷額等は我が国の4分の1を占めています。

◆GDP(名目)の世界との比較 (2018年(注))

| 国 | GDP (10億ドル) |
|---------|-------------|
| オランダ | 914 |
| サウジアラビア | 787 |
| トルコ | 778 |
| 中部5県 | 751 |
| スイス | 736 |
| ポーランド | 587 |
| シンガポール | 373 |
| 愛知県 | 369 |
| 南アフリカ | 368 |
| デンマーク | 357 |

(注) 愛知県と中部5県は年産額、東京府島根県市場におけるインテック(自動車)中心地域の平均(2018年)の12月集計を基に計算、他国は概算計。
(出典) 内閣府「経済協力対話」、政府統計局「世界の統計」



中京大都市圏の拠点性の向上

国内外からヒト・モノ・カネ・情報を呼び込み、活発な交流を促進するため、圏域内の総合的な交通ネットワークを充実するとともに、世界との直結性を高め、アジアの大都市圏との競争に負けないインフラ環境の整備を進めています。また、名古屋都心部への高次都市機能の集積を図るとともに、圏域内の主要都市において、地域の特色を生かした機能集積を図っています。

リニア中央新幹線の整備促進

東京-名古屋間を時速500km、約40分で結ぶリニア中央新幹線は、2027年度の開業に向けて、名古屋駅を始め、愛知県内においても本格的な工事が進められています。愛知県では、進捗に専念して、国・関係機関への働きかけや事業推進に必要な調整を行っています。

リニア中央新幹線 (L0系改良型試運転機)

◆主要幹線道路網の整備

中部国際空港と新東名高速道路を直結するとともに、名古屋高速道路を經由して、リニア中央新幹線の名古屋駅とも繋がる西知多道路の整備を進めています。
また、本県の主要な東西軸となる名古屋環状西線と名古屋環状東線の三河南信自動車道の整備を加速するとともに、名越道路並びに浜松湖西豊田道路の早期実現に向けた取組を進めています。

西知多道路の整備 東海JCT(イメージ)

港湾の機能強化

名古屋港、衣浦港、三河港は、モノづくりが盛んな中部地域と世界を結ぶ海のゲートウェイであり、今後日本の経済・産業をリードする基盤として、コンテナ、完成自動車、バルク貨物などを円滑に取り扱えるよう、機能強化を図っています。

名古屋港(長良川・津奈木コース) (名古屋港管理事務所)

『中部国際空港の将来構想』の早期実現

中部国際空港の将来構想の早期実現に向けては、地域が一丸となって、国への働きかけを行うとともに、エアポートセールスやインバウンド旅客の誘致等を実施するなど、航空ネットワークの拡充と航空需要の拡大を図っています。

中部国際空港の将来構想に沿った再開発の整備

名古屋駅のスーパーターミナル化と名古屋駅周辺まちづくり

リニア中央新幹線の開業に向け、名古屋駅周辺では、民間事業者による再開発が進んでいます。愛知県では、名古屋市民間事業者等と連携し、中京大都市圏の玄関口となる名古屋駅のスーパーターミナル化や、名古屋駅周辺のまちづくりを始め、名古屋都心部の高次都市機能の集積を図る取組を進めています。

名古屋駅周辺 (City of Nagoya)

中京大都市圏の主要な政策

この地域の強みである圧倒的な産業集積を生かしながら、世界に開かれた大都市圏として発展していくため、海外から企業や人材を呼び込み、活発な交流を促進していくとともに、愛知に住む外国人が安心して暮らせるよう、魅力ある環境づくりを進めています。

世界とつながるグローバルネットワークづくり

海外とのパートナーシップの構築

愛知県では、グローバルな経済・社会の動きに的確に対応していくため、友好提携や経済連携などを結んだ国や地方政府との間で、幅広い分野での交流を進めています。また、今後の成長が見込まれ、互いの地域特色を活かすことのできる国や地域との新たなパートナーシップの構築に向けた検討を進めています。

Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)の活用

2019年、空港島に日本初の国際空港遊覧船となる延床面積約9万㎡の「Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)」を開業しました。
この展示場で、観光、アウトドア、スポーツなど様々な分野のイベントやコンサートなどが開催されています。空港島とその周辺地域が、新たな交流、賑わい、集客の拠点となるよう取り組んでいます。

駐日米韓総領事館大使との懇談

愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo)

県内企業の海外展開や販路開拓への支援

競争が激しさを増すアジアを始めとするグローバル市場を、県内企業が獲得するため、国際ビジネスに関するワンストップサービス拠点において、愛知県と関係機関が相互に連携して、経済・産業、投資環境等に関する情報提供、相談対応など、海外展開への意欲のある県内企業等に対して幅広い支援を実施していきます。

ベトナム輸出企業との意見交換会

海外の大学等との連携・協力関係の構築

グローバル化やデジタル化に対応した産業の革新・創造拠点の形成のため、中国・清華大学やアメリカ・テキサス大学オースティン校など、連携・協力関係にある大学等との人材交流や技術交流を深化させていくとともに、新たな連携・協力関係の構築に向けた検討を進めています。

中国・清華大学との各交流に関する覚書の締結

スーパーメガリージョンのセンターを担う中京大都市圏づくり

愛知県は、2020年11月、新たに策定した「あいちビジョン2030」に沿い、「中京大都市圏の拠点性の向上」を始め、「世界とつながるグローバルネットワークづくり」、「はげまれる魅力的な地域づくり」、「イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり」などの取組を進めています。
また、経済面、社会面、環境面の調和のとれた、活力と持続力を兼ね備えた大都市圏を目指すことで、SDGs(持続可能な開発目標)達成に貢献していきます。

イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり

中京大都市圏が、次々とイノベーションを起こす、世界一の産業の革新・創造拠点となることを目指して、次世代自動車や航空宇宙、ロボットの分野を始め、健康長寿・環境・新エネルギーなど、幅広い産業集積を進めていくとともに、スタートアップ支援や産業人材の育成に取り組んでいます。

選ばれる魅力的な地域づくり

国内外から人を惹きつける大都市圏の実現に向け、文化芸術の国際的なイベントの開催、国際的・全国的なスポーツ大会の招致・開催、武徳観光・産業観光の推進、伝統文化・食文化等のPR、愛知の「住みやすさ」のPRなどに取り組んでいます。

国際的・全国的なスポーツ大会の招致・開催

2026年に「第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)」を開催します。アジア競技大会は、アジア最大のスポーツの祭典であり、東京2020オリンピックの次なる大きな目標となります。また、拡大するアジアとの交流を一層深める機会となるなど、日本全体にとっても大変意義のある大会です。アジア競技大会の成功に向けて、名古屋市とともに開催準備に全力で取り組んでいます。

愛知発の文化芸術の育成・発信

国際芸術祭「あいち2022」は、国内最大規模の国際芸術祭の一つであり、国内外から多数のアーティストが参加します。現代美術、パフォーマンス、ダンス、パフォーマンス、音楽など、ジャンルを横断し、最先端の芸術が「あいち」から発信します。
また、今年4月に、愛知県立芸術大学芸術学部「メディア映像専攻」を開設します。アニメ・映画産業の担い手育成や、最新技術を活用した新しいメディア映像表現による芸術分野の創造を図ってまいります。

国際芸術祭「あいち2022」ロゴ

ジブリパークの整備推進

愛知万博の理念を次世代に継承するため、愛・地球博記念公園内に、スタジオジブリ作品の世界観を表現した「ジブリパーク」の整備を進めています。2022年11月の開園に向けて、国内外からの多くの来園者に愛される唯一無二の公園を目指し、取り組んでいます。

ジブリパークのイメージ(ジブリの大倉庫) (Studio Ghibli)

愛知県新体育館の整備と国際的なスポーツ大会の招致・育成

50年以上の長きにわたり、県民に親しまれてきた愛知県体育館に替わる新体育館について、「第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)」を始めとしたスポーツの国際大会や全国大会、全国レベルのコンクール、イベント、コンベンション等の拠点として、愛知・名古屋のシンボルとなる世界でもトップクラスのアリーナを目指し、2025年度のオープンに向け整備を推進していきます。

愛知県新体育館イメージ図

STATION Ai を中核とした戦略的なスタートアップの創出・育成

日本最大のスタートアップ支援拠点STATION Aiが、ハード・ソフトにわたるデジタル・トランスフォーメーション推進環境等を備え、国内外のスタートアップ支援機関や大学、企業と連携したスタートアップの創出・育成の拠点となるよう、2024年10月の供用開始に向けて整備を進めています。

STATION Ai 内観(イメージ図)

自動車産業の振興

自動車産業を基幹産業とする愛知県が、CASE、MaaS等の潮流を的確に捉えつつ、愛知期をリードするため、自動車産分野については、実証実験の実施のほか、企業・大学等と市町村とのマッチング等の支援によりイノベーションを創出し、オールあいちによる自動運転の社会実装や、自動運転技術を活用した新しいモビリティサービスの実現を目指していきます。

中部国際空港における自動運転実証実験

ロボット産業の振興

ロボット技術は、AI・IoT等の技術革新により進歩を続け、生産性の向上だけでなく、社会課題の解決につながる技術として、益々重要なものとなっています。そのため、ロボット産業の振興に向け、産学行政が参画する、あいちロボット産業クラスター推進協議会を核に、企画・設計や実証実験、販路拡大への支援など、開発期と利用期が開発段階から連携し、新たな技術・製品の創出や利用拡大を推進していきます。

サービスロボットの実証実験

航空宇宙産業の振興

国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の推進措置の活用や販路拡大、人材育成、企業立地、研究開発、実証実験の支援などにより、本県への航空宇宙分野の企業の集積や航空機生産機能の拡大・強化を図っていきます。

HIIAロケット (JAXA)

中京大都市圏プロジェクトマップ



| 凡例 | |
|----|----------------|
| | 高規格道路(高規格幹線道路) |
| | 高規格道路(一般広域道路) |
| | 普通道路 |
| | 有料道路 |
| | 道路事業 |
| | 河川事業 |
| | 港湾事業 |

1:230,000
0 5 10 15 20km

※地図に基づき(国土院地政院提供) R.3.4.788 東洋地産